

道徳の時間学習指導案

三次市立三良坂小学校

指導者 T1

T2

- 1 日 時 平成24年10月25日(木) 第5校時
- 2 学 年 第5学年(児童数31名)
- 3 場 所 5学年教室
- 4 主題名 伝統を受け継ぐために 【内容項目4-(7)】
- 5 ねらい 平末さんの思いに気付き、太鼓のばい(ばち)をぐっとにぎりしめる良男の気持ちを考えることを通して、地域の伝統文化の大切さと自分がそれを継承していくことの責任を自覚し、努力していこうとする心情を育成する。
- 6 資料名 「心に生き続ける『沖江田楽』」 【自作】

7 主題設定の理由

- 伝統文化とは、その地域に生きる人々が過去から継承してきた宝といっても過言ではない。文化を継承することは容易なことではなく、継承するために多くの人が努力してきている。

学習指導要領に示された内容4-(7)には、「郷土や我が国の伝統と文化を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。」とある。高学年では、先人の努力を知るだけでなく、自分もそれを継承し発展させていく責任を自覚し、そのために努めようとする心情の育成が求められている。先人の努力の背景にある思いや願いに気付かせることは、自分のこれまでを振り返り、これからの生き方を考えさせることにつながる。さらに、地域の郷土芸能の体験活動は、地域の人と触れ合い、思いを知るることにつながる。その思いを生かして、郷土芸能を受け継いでいこうとする責任の大切さを感じ、努力しようとする心情が育成されると考える。

- 本校では、6年生の総合的な学習において、「沖江田楽」の歴史を調べ、実際に郷土芸能保存会の方に指導していただいている。また、練習した「沖江田楽」を発表する場を設けている。

地域や沖江田楽について次のような項目でアンケートを実施した。

- ・ 三良坂が好きですか。
- ・ 三良坂のことをよく知っていると思いますか。
- ・ 三良坂についてもっと知りたいと思いますか。
- ・ 三良坂のために何かしたいと思いますか。
- ・ 地域の行事に積極的に参加していますか。
- ・ 「沖江田楽」は好きですか。
- ・ 「沖江田楽」をやってみたいと思いますか。

アンケートの結果では、本学級の児童は「三良坂町が好き」と答えた児童は82%であった。また、「三良坂についてもっと知りたい」と思っている児童は82%、「三良坂のために何かしたい」と思っている児童は89%いた。このことから、過半数以上の児童は、地域へ関心をもち、三良坂町について肯定的にとらえていることがわかる。これらは「つながり学習」の影響も大きいと言える。しかし、「三良坂のことをよく知っている」と答えた児童は43%であり、過半数以上が三良坂について自信をもって知っているとはいえないようである。また、地域の行事については、子ども会行事

やお祭りなどの参加が多いが、積極的に参加していない児童も1%はいる。

「沖江田楽」についての意識は82%の児童が好きと答えている。また、演じてみたいと思っている児童も79%いるが、「沖江田楽」についての知識をもち、伝統芸能を演じることへの責任感もったり、誇らしく思ったりする意識までには至っていない。ただ、6年生になれば演じるものであるという気持ちはもっており、来年度、自分が演じる役について考えている児童も多い。

これらの結果から、児童の地域に対する意識を向上させていく必要を感じる。

- 本資料は、「沖江田楽」に対して受け身でしかなかった主人公が、指導してくださる郷土芸能保存会の方の姿や自分の父親も沖江田楽を継承してきた一人であるを通して、練習に取り組む姿勢が変容していく姿を描いた自作資料である。

展開に当たり、導入では「つながり学習」での活動テーマから、「三良坂をよくするため」の内容と「三良坂の伝統を守っていく、受け継ぐ」内容とで活動してきたことに触れ、「受け継ぐ」という視点から本資料への動機付けを行いたい。展開の初めでは、沖江田楽の練習に対して受身的な主人公の心情を共感的にとらえさせたい。展開中段では、父親の話聞き、自分の練習に集中していなかった自分の態度を振り返り、その自分を悲しい目で見つめていた田楽指導者の気持ちに気付かせたい。この気付きから中心場面で、変容した主人公の気持ちやなぜ気持ちが変わったのかという理由をワークシートに記入させ、自分の考えを明確にした上で、全体での意見交流で深めていきたい。

内省化の場面では、導入で活用したアンケートをもとに、なぜ自分がその役をやりたかったのか考えさせたい。

終末では、平末さんからのメッセージの映像を観せることで、自分たちが沖江田楽を継承していくんだという意欲へとつなげたい。

8 準備物

読み物資料「心に生き続ける『沖江田楽』」、ワークシート、提示物（短冊、写真）、メッセージのスライド

9 学習展開

	学習活動	主な発問と児童の心の動き		支援(○)と評価(☆)
		T 1	T 2	
導入	1 沖江田楽で演じた役を聞く。	○ 「つながり学習」の写真を見せる。	○ 「つながり学習」はどんなテーマでしたか。	○ アンケートをもとにどんな役をやりたかったかを考えながら、沖江田楽の役や様子を振り返らせる。
展	2 「心に生き続ける『沖江田楽』」を聞いて話し合う。 ① 練習に集中できず、ばいを落とした良男の気持ちを考える。 ② 平末さんの悲しそうな目を見てどきっ	○ 「心に生き続ける『沖江田楽』」を聞いて話し合いました。 ○ ばいを落として叱られた良男は、どんな気持ちだったでしょう。 ・暑いなあ。しんどいなあ。 ・早く練習が終わらないかな。 ・どうしてこんなに練習しなくてはいけないのだろう。 ・怒られていやだな。 ・僕だって一生懸命やっているんだ。 ・そんなに怒らなくてもいいじゃないか。 ○ 平末さんの悲しそうな目を見て、良男は、どうしてどきっと	○ 資料絵の提示を行い、内容を把握しやすいようにする。 ○ 以前、ばいを落とした時、平末さんは何といったでしょう。	○ 資料は分割提示を行う。 ○ 練習をしている最中のことでわざとではない行動であったことをおさえ、良男の気持ちを共感的にとらえさせる。 ○ 以前、ばいを落とし叱られた時の気持

言語活動の充実

開	<p>とする良男の気持ちを考える。</p> <p>③ 父親から話を聞き、むねがジンとした理由を考える。</p>	<p>したのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どうして怒らないのだろう。 ・ 悪い事をしたような気がする。 ・ なぜ悲しそうなんだろう。 ・ 一生懸命やってないと思われたかもしれない。 ・ もっと頑張ってほしいのかもしれない。 ・ 一生懸命やっているのにうまくいかないんだからしょうがない。 ・ 一生懸命教えてくれているのに悪かった。 <p>○ 父親の話を思い出し、胸がじんとしたのはなぜでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 八百年の歴史があるんだ。 ・ 平末さんは、三十年も教えてきたんだ。 ・ 平末さんは僕たちが上手になることを楽しみにしているんだな。 ・ 地域の人も楽しみにしているんだ。 ・ 沖江田楽は三良坂の町の人の心に生きているんだな。 ・ 自分は本気で太鼓を叩いていなかった。 ・ 平末さんは自分が本気じゃないことが悲しかったんだ。 	<p>(補) 平末さんはどんな思いでばいを落とした良男を見つめたのでしょうか。</p>	<p>ちとの比較をさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ T2の補助的な質問を活かして比較した考えを引きだす。 ○ 考えが出にくい場合は、補助発問をし、平末さんの気持ちを考えさせることで良男の気持ちを考えさせる。
	<p>④ 発表会の日、ばいをぐっと握りしめた良男の気持ちを考える。</p> <p>3 自分の生活を振り返る。 (内省化) 平末さん(G・T)のお話を聞く。</p>	<p>◎ ばいをぐっとにぎりしめる良男の気持ちは、どのように変わったでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ よし、頑張るぞ。 ・ 平末さんに教えてもらったことを精一杯やってみよう。 ・ 今度は僕たちが、田楽を引き継ぐ番なんだ。 ・ 教えて下さった人に喜んでもらいたい。 ・ 三良坂の人を楽しませたい。 ・ 伝統を受け継いでいくために一生懸命頑張ろう。 <p>○ 平末さん(G・T)のお話を聞きましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「沖江田楽」への思い ・ なぜ30年も指導してきたのかという思い ・ 来年演じる5年生へのメッセージ 		<ul style="list-style-type: none"> ○ 良男がばいを落とした時の気持ちと比較して考えさせる。 ○ ワークシートに記入させ、発言し意見の交流を行う。 ☆ 伝統を守り伝えようとする人の気持ちに気付き、伝統を受け継ぐことの大切さについて考えている。 ○ T2は、考えにくい児童に机間指導を行う。T1は、ワークシートの内容を分類してメモする。
終末	<p>4 6年生の思いを聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ スライドをみましょう。 ・ 6年生が演じてみて感じた感想を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電子ボードの準備及び操作を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 映像に文字を入れることで、メッセージをより効果的に感じとらせ、余韻をもたせる。

10. 板書計画

